

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 434

所管部局	農林商工部	所管課	農林整備課	担当者名	谷 裕之
事業名	林業振興事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	林業振興事業			政策体系	211
会計	一般会計	科目	6.農林 - 2.林業 - 2.林業		

1. 事業の概要

緑の少年団・優良材づくり振興会等に対する活動助成

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

- ・平成11年度からの継続事業で大学生等のボランティアによる里山整備や学校等の遊具製作に携わっている「美山木匠塾」にスギ角材等の原材料を支給する
- ・青少年の健全育成のために、地域のボランティア活動等に取り組まれている団体及び、林業経営体の強化
- ・地域産材の品質向上を図る目的で活動をされている団体への活動助成をする

②事業を実施する必要性

- ・木の実用的な良さを見直し、森林の大切さや環境問題を学び、地元産の木材を使用して地域の林業振興にもつなげようとするものである
- ・青少年の健全育成、地域産材の良質材生産を図るためには必要な事業である

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	419	420	403	294	157	294	294
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	419	420	403	294	157	294	294
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.05	0.10			
人件費		千円	—	—	357	695			
事業費総額		千円	—	—	760	989			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

美山木匠塾へのスギ角材支給 費)	186,000円（原材料費）
緑の少年団等への活動助成	80,000円（補助金）

5. 事業結果の概要

美山木匠塾へのスギ角材支給 緑の少年団等への活動助成（青少年の健全育成）

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 美山木匠塾		
平成11年度からの継続事業で大学生等によるボランティア活動に対しすぎの角材等の原材料を提供する。・府立大学の学生 深見地区の大径木育成林(植林地)の看板 ・関西大の学生 宮脇地区の広場用に六人掛けの椅子とテーブル・修成建設専門学校の学生 宮島小と平屋小の木製ジャングルジムの補修 知井・大野地区を拠点に、地元木材を利用した藤棚とベンチの作成	平成21年9月	木の実用的な良さ、森林の大切さを学び、地域産材の木材を使用することにより林業振興にも一役を買う。
(2) 緑の少年団		
青少年の健全育成のために、地域のボランティア活動(大野ダム記念公園のゴミ拾い等)等に取り組みされた団体への、活動補助金を交付する。	平成21年4月1日～ 平成22年3月25日	野外活動を主として、緑に親しむことにより次世代を担う子供たちに森林を身近に感じてもらい、将来の森林荒廃の防止に寄与する。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

青少年の健全育成を図るために、引き続き事業を実施し環境保全を図っていく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
次世代を担う青少年の健全育成のために何が必要か。
- ②当該事業のアピール事項
森林を身近に感じてもらうために、木の実用的な良さ及び地域産材の利用促進を図る。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
引き続き事業を実施し、森林荒廃の防止を図っていく。